

来年度のダイヤ改正に向けた公共交通に関するアンケートを実施

昨年10月から今年の1月にかけて通学にバスを利用する小中学生及び保護者と、一般利用者（主にバス、タクシーなどの公共交通を利用する高齢者）を対象に公共交通に関するアンケート調査を実施いたしました。このアンケート調査は、現在のバス、タクシーの運行について利用者が感じていることを調査し、来年度の運行形態及びダイヤ改正に反映させることを目的としています。左記は主な意見の抜粋です。

【小中学生・保護者意見】

- ・小中学校の登下校時間に合っていない
- ・朝一番の電車で間に合う便がない
- ・通学費の無償化を希望



【一般利用者主に高齢者の意見】

- ・バス停から家まで荷物を持って歩くのが大変
- ・デマンドの予約が面倒
- ・タクシー券をもらっても数回乗ると使い切ってしまう
- ・時刻表が分かりにくい
- ・路線バスやデマンドなどややこしい



利用状況とアンケート結果を分析しています。これらの意見を反映させ、利用時間に合った運行ダイヤや

運行形態を現在検討しています。10月1日の改正に向け、今後も町民の皆様の見解をいただきながら進めていきます。

4月1日からの町営バス変更点

その① 大宮線路線バスの小型化

2月より試験的に運行してきました大宮線の小型車両運行を4月から本格的に運行いたします。これは、大宮線の利用者の大半が生山地内の小中学生で、生山以降の利用者は数名であるため小型車両で運行するものです。これにより、運行経費、燃料費を削減することができ、空席が多い状態で中型バスが運行することもなくまりました。生山地内の児童・生徒には石見線、福栄線に振り替えて乗車いただいています。



その② 巡回バスのあかねの郷経由

2月より試験的に運行してきました巡回バスのあかねの郷を経由しての運行を4月から本格的に運行いたします。これは、これまで福栄線でしか行くことが出来なかったあかねの郷について、か



ねてより巡回バスの乗り入れを希望する声があったため、全7便のうち午前午後1便ずつあかねの郷を経由するものです。

その③ デマンドバスのバス停を追加

デマンドバスのバス停が3箇所追加されます。追加場所は大宮線の「元菅沢」福栄線の「太田」です。今回追加される地区にはデマンドバスのバス停がなく、近隣のバス停までの距離も遠いため追加しました。また、巡回バスのあかねの郷経由に伴い、福栄線のデマンドバスのバス停に「あかねの郷」を追加しました。これにより、巡回バスと同じくあかねの郷敷地内で乗降することが出来るようになります。

日南町公共交通総合計画の策定に向けて

平成31年（2019年）度の取組みとして、今後の日南町の公共交通を持続的かつ利用しやすい運行形態とするため、公共交通総合計画を策定する予定です。この計画は平成31年（2019年）10月1日から開始予定で、その計画に沿って3年〜5年をかけて事業を進めていきます。町営バスはもとより、タクシー事業者、地域住民による運行など、地域の交通を担うすべてのモビリティ（移動手段）を包括的に考え、課題解決に取り組めます。

利用者だけでなく、町全体の課題として

これまで長い時間をかけて取組んできた公共交通の課題ですが、町営バス、デマンドバスのみではすべてのエリアをカバーすることは、限られた時間帯において、また人員や車両の確保からみて相当困難な状況にあります。県内でも厳しい状況に耐えかね運行事業者が撤退してしまうという事例も発生しています。そういった状況の中で、タクシー事業者との協力、またNPOの地域住民による運行、ライドシェア（乗合いでの移動）などは今後ますます必要となってくると思います。こうした取組みが町全体に広がっていくことで、きめ細やかなサービスの提供が可能となり、ひいては公共交通空白地域の解消に繋がるものと考えます。一方で地域住民による運行、ライドシェアはドライバーの確保などの諸課題により進んでいない現状もあります。公共交通の課題は一朝一夕に解決するものではありません。利用者だけでなく、町全体の課題として考え、試行錯誤を重ねながら、課題の解決に向け一步一步前進してまいります。

【お問い合わせ】

役場企画課 82-11115

